



第90回日本循環器学会学術集会 ランチョンセミナー41 (LS41)

画像診断の未来を拓く： 慢性冠症候群における 非侵襲的画像診断の新潮流

座長

福島県立医科大学 循環器内科学講座

埼玉医科大学国際医療センター 心臓内科

竹石 恭知 先生
中埜 信太郎 先生

演題・演者

冠動脈CTが拓く慢性冠症候群診断の実践 — 負荷心筋血流シンチとの戦略的選択 —

順天堂大学大学院医学研究科 循環器内科学講座

藤本 進一郎 先生

演題・演者

負荷心筋血流SPECTの役割を 新たな指標とともに見直す

福島県立医科大学 放射線医学講座

福島 賢慈 先生

●日時・会場

2026年 3月21日(土)
12:15～13:15

第19会場

(マリンメッセ福岡A館 2階「会議室2」)

〒812-0031 福岡県福岡市博多区沖浜町7-1

※ランチョンセミナーは整理券制となります

【事前申込】

- 事前申込期間：2026年1月26日(月) 正午
～ 3月2日(月) 17:00 まで(予定)
- お申込み方法：本学術集会の参加登録マイページより
お申込みください。
- 学術集会当日、お申込みされたセミナー番号が印字された参加証
が発行されますので、ご入場の際にご提示ください。

【当日申込】

- 当日お申込みも可能ですが、お申込み可能な数に限りがございます。

共催 第90回日本循環器学会学術集会
PDRファーマ株式会社 / 日本心臓核医学会

日本心臓核医学会 入会案内

日本心臓核医学会は1998（平成10）年10月に発足しましたが、心臓核医学に関する基礎および臨床研究の推進とその普及をはかり広く循環器病の診断と治療に貢献することを目的としています。具体的な活動としては、年一回の学術大会の開催、心臓核医学会機関誌の発刊、ホームページの開設、学会賞・若手研究者奨励賞の創設などを行い、さらに英文誌Annals of Nuclear Cardiologyの発刊を含めて、心臓核医学の発展のために積極的に取り組んでまいりました。

また、関連学会の日本循環器学会、日本核医学会、日本心臓病学会等と連携を密にし、学会開催中には共催でジョイントセミナー・シンポジウムを開催しております。

心臓核医学の地域別教育研修会は2007（平成19）年から全国を8地域に分けて開催されており、毎年1000人ほどの先生方にご参加いただいておりますが、本冊子はその研修会で使用されるテキストです。本研修会の中で心筋SPECTおよびPETの基礎および各論についての講義を設け検査の意義を学んでいただき、実際に症例の読影を経験いただくことも行っています。

心臓核医学は診断や予後に関するエビデンスが豊富で、治療戦略を立てる上でのゲートキーパーとして非常に重要な検査として位置づけられています。また、多くの画像検査方法が進歩する中でも、虚血を直接画像化し、心機能を評価し、代謝を画像化することの重要性が認識されてきました。しかし、残念ながら本邦では欧米に比べると十分に臨床で活用されているとはいえません。

是非、多くの先生方に心臓核医学検査の有用性をご理解いただくとともに、心臓核医学会の趣旨にご賛同いただき、ご入会を賜りますようお願い申し上げます。

日本心臓核医学会

詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.jsnc.org/>

日本心臓核医学会事務局

〒169-0072 東京都新宿区大久保2-4-12 新宿ラムダックスビル

Tel:03-5291-6231 Fax:03-5291-2176 E-mail : jsnc@shunkosha.com